

# 宮城大学 後援会報

## Vol.54

発行  
令和2年2月28日

発行者  
〒981-3298  
宮城県黒川郡大和町学苑1-1  
宮城大学後援会  
TEL022(377)8381

編集  
宮城大学後援会事務局

### 主催事業「結城登美雄氏講演会&パネルディスカッション」

## 「命をつなぐ」さまざまな連携から

後援会主催事業として、昨年11月9日、大

和キャンパス講堂にて「結城登美雄氏講演会&パネルディスカッション」を開催しました。第1部は講師に民俗研究家であり、地域づくりプロデューサーでもある結城登美雄先生をお迎えしてご講演をいただき、第2部は新しい

試みとして、押切珠喜さんをコーディネーターにお迎えし、さらにゲストとして河北新報社常務取締役の鈴木素雄さんをお迎えした中で、結城先生と宮城大学の3学群の先生にパネルディスカッションをしていただきました。

結城先生は20年にわたり、県内外の農村、漁村をフィールドワークしながら、その土地に生きる人々の声を聞き、暮らしを見つめながら住民を主体にした地域づくりの手法、地



▲「地域の力」を理解することから、とお話する結城氏



▲第2部 パネルディスカッションで耳を傾けるパネラー

元学を提唱されております。

講演会では、スライドを使って、様々な写真や資料を用いて東北各地の海辺、山間地、農地で暮らす人々の実情を分かりやすく教えてくださいました。

また、食べる人と作る人の連携協力によって活路が見いだせないかと「鳴子の米プロジェクト」を立ち上げた経緯をお話してくださいました。今年で15年目になるそうですが、若い力(小中学生や中学生)、小さな力(地域)が大切なことを理解すると、それを人に伝えるということによって大きな変革が生まれていくのだと感じているそうです。

第2部のパネルディスカッションでは、各学群の特色や日頃の活動内容について先生方からお話をいただきました。看護学群では、東日本大震災後、学生と教職員が南三陸町の健康課題について取り組み、「みやぎ絆むすび隊」を立ち上げ、学生は戸惑いや力不足など困難さを

感じながらも、ボランティア活動を通して被災地の状況を学び、被災住民との交流経験を積み重ねられてきたそうです。また、事業構



想学群では、地域に入っ て建築、情報、ビジネスという知見でそれぞれのプロジェクトを考えてこれら、食産業学群では、宮城の食材を使って優れた食品を開発するなど、宮城の農村の「結」の文化を使って新しいコミュニティを形成し、あるいはそこから引き出す力を育てられてきたそうです。

ゲストの河北新報社の鈴木素雄さんは、宮城大学が建学されることからジャーナリストとして関わってこられて、これからどうしていくべきなのか?という視点でご意見をくださいました。知識には3つの種類があり、【教

養知】↓読み書きそろばんといった基礎的な人間が生きていくための知識、【専門知】↓法学部の学生であれば刑法とか民法とかに当たるもので、大体大学で教えてくれるもの、【野性的知】↓フィールドワークとか現場に出ることによってしか養えない知、【知】とのこと。開学の理念はそれらを含めたものであったことを振り返られ、その上で、「それらの知識は宮城大学の各学群が持っている。学群間での連携や、地域との連携を通じて宮城大学の存在そのものが、社会におけるさまざまな課題や問題を解決するときの相談場所、いわゆる『かかりつけ大学』となるよう、地域を盛り上げてほしい。」と、エールをくださいました。

(後援会副会長 佐竹加代子)

お知らせ 講演会及びパネルディスカッションの内容は、<https://www.myu.ac.jp/campus/support/>から是非ご覧ください。

#### 記事一覧

2面・3面 ●2019大学祭 / 食産業学群(部)ホームカミングデー 2019  
4面 ●新入生交流事業「コンペケーションディ」秋 異文化理解・交流促進プログラム

5面 ●コラム「絆」  
6面・7面 ●宮城大学のキャリア教育・就職支援と 後援会からの助成実績報告

8面 ●教員からの一言  
【後援会】「終身会員の集い」開催 / 終身会員制度のご案内 / 総会のご案内  
【大学】卒業式のご案内 / ご支援のお願い

太白キャンパス大学祭実行委員長  
食産業学群フードマネジメント学類  
2年 古本史也

MYUFES 2019 にご来場いただきありがとうございました。今年のテーマは「オクトーバーフェスト」ということでお祭りのような賑やかな雰囲気を演出したいと、実行委員会一同春から準備に励んできました。当日はご来場いただいた皆様のおかげもあり、大盛況に終えることができました。

屋上での食べ物やイベントステージ、お化け屋敷など例年からあるものはよりパワーアップさせることができましたし、新たな取り組みとして、「射的」や「輪投げ」などのアトラクションブースをお化け屋敷と併設することで、より幅広い年齢層の方に楽しんでいただけるようになりました。また、毎年恒例のお笑いステージも、「EXIT」「レインボー」の二組の人気によりチケット即完売の超満員で大いに盛り上がりました。

新たな取り組みを始めることには私が想像していたよりも多くの困難があり、実行に移せなかったものも多々ありましたが、それでも実行にまでこぎつけたものに関して、来ていただいた方々にお褒めの言葉をいただいた時は大きな達成感がありました。また、大学祭は非常に多くの方々の協力のもと開催できていることを改めて認識することができ、実行委員長として身が引き締まる思いでした。この経験をしっかりと来年度の実行委員に引継ぎ、大学祭がより一層大きなものとなるよう手助けしていきたいと思っております。

太白キャンパスの大学祭に関わってくださった全ての方々に重ねて御礼申し上げます。

# MYUFES 2019



▲プリン♥いいね



▲入念なりハーサル



▲パワーアップ



▲庄巻のダンスパフォーマンス



◀楽しすぎて  
笑いとまんない



▲ものまね?!



▲模擬店ががんばりました



▲フードファイト

10月14日に開催!  
「MYU知との遭遇」。  
あなたは、何に  
遭遇しましたか?



◀▼外ステージを盛り上げる  
学生バンド!



◀男装女装コン  
テスト



▲実行委員も楽しんでます!



▲学生による出店も!



◀エンディングに向け、  
盛り上がる  
実行委員



▲見事店露 No.1!



▲MYU 君!



◀講堂を盛り上げる  
娘すずめの演舞

10月5日・6日に開催!  
おいしい・おもしろい・うれしい2日間でした



▲講演「食産業学部で学んだこと、そして今」



▲近況を開けて大満足の笑顔

カフェテリアで懇親会を開き、同窓生同士、仕事の話も盛り上がり、教員は卒業生の成長に目を細めながら、また来年の再会を約束して散会となったのですが、片づけが終わって研究室に帰るとまた次々に卒業生が現れ、エンドレスのおしゃべりに。母校というのはいいものですね。また来年も楽しみにしています。

食産業学部(群) ホームカミングデー2019開催  
溢れる一日  
伝えたいことが  
食産業学群教授 森本 素子  
食産業学部(群)では、毎年大学祭に合わせて卒業生のホームカミングデーを実施しています。今年も、後輩たちの大学祭を楽しみながら、懐かしい研究室を訪ねて近況を報告する卒業生の姿が多数見られました。例年、午後には「食産業学部で学んだこと、そして今」というテーマで卒業生による講演会があり、在学生やご家族の方も参加され、好評を得ています。今年は、5期生が講演をする年で、ファームビジネス学科から渡邊欣二さん(TOHO KU 204・同級生と起業)、フードビジネス学科から佐竹理沙さん(全農みやぎ/株)パールライスみやぎ、環境システム学科から小野知馬さん(宮城県水産林政部 漁港復興推進室 漁港整備班)が登場し、それぞれが大学時代の思い出や仕事のおもしろさを語ってくれました。在学生からは「実際に働いている方のお話を聞くことができ、これからの時間を大切に使っていきたいと感じました。」といった感想が寄せられ、大いに刺激になったようです。講演会後は

# 太白キャンパスでは「食」で交流

宮城大学では1年生を対象に、春と秋に新入生交流事業「コンボケーションデー」を開催しています。

9月19日には太白キャンパスを会場に、看護学群・事業構想学群・食産業学群の1年生が集まり、キャンパス・学群を越えて交流を行いました。

今回のコンボケーションデーでは、「食」とおとしての地域との関わりをテーマに、宮城県産の食材で構成されたお弁当を題材に取り上げ、午前の部ではこのお弁当に使われている食材・食品に係る4つの企業・団体の皆様にご協力いただき、講演をしていただきました。

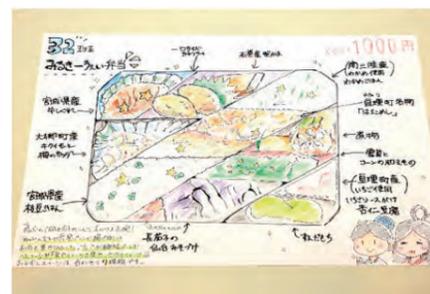
午後は、午前のご講演と夏休み中の事前



▲題材に取り上げた「特製元気みやぎ弁当」



▲探検ラリーの様子



お弁当の開発でグランプリを獲得したNo.32チームのデザイン図

課題を踏まえ、各学群の分野を活かしながらチームで1つお弁当の開発に挑戦しました。また、農場や動物・水産の施設等を巡りながらクイズに答えるキャンパス探検ラリーも行い、得点が高かった上位3チームには、賞品として本学坪沼農場産のひとめぼれや農産物が授与されました。

チームで開発したお弁当は、後日投票を行い、No.32チームがグランプリ、No.4チームが準グランプリに輝きました。投票終了後にはちょうど新米の時期に入っていましたので、こちらの上位2チームには、今年に特に出来栄の良い本学坪沼農場産の新米ひとめぼれが贈られました。

(教務・学生支援グループ)

## 英語について私が知っている二、三の事柄

基盤教育群講師 佐藤 麗

ような単純なやり方でも、ある程度続ければ、語彙力は徐々に積み上げられるものである。重要なのは、わからないことは調べる、そして同じことを何度も繰り返して言うことである。外国語習得であろうが、サッカーのドリブルであろうが、初めてやってみることに苦戦するのは当たり前である。出来ないことに対して、どれだけ労力を費やすかが上達度を決めるのだ。

幸いにも、外国語を習得するのに才能は必要ない。誰でも一定量の時間と労力を費やせば、理論的にはどんな言語でも話せるようになる筈である。後は上達までの長い道のりを、どれだけ飽きずに楽しく過ごせるかということであろう。



▲訪れたエーゲ海沿いの小さな町、「クシャダス」

英語教員という職業柄、英語の良い勉強方法について質問されることが多い。しかし、語学を少しでも習ったことのある人ならわかるように、魔法のような勉強方法というものには存在しない。外国語を身に付けようと考えた以上は、頭を垂れ、謙虚な姿勢で粛々と、その言語を使い続けるというのが、結局は最良の勉強方法なのだ。

しかし、質問の主がそういった常識的な解答を求めていることはわかっている。英語の資格試験が間近に迫っているというのであれば、私の答えはいつも決まっている。それは、外国語で常に独り言を言う、というものである。

私自身も大学生の頃、実際にこの「英語で独り言」を実践したものである。やり方は単純至極、とにかく自分のやることなすこと、考えたことを一字一句英語で口に出して言うのである。なんと莫迦莫迦しい方法であろうかと思うだろうが、これがまったく一筋縄ではいかない。日常動作の殆どが高校までの英語の教科書には載っておらず、「割った卵をかき混ぜる」とすら言えなかったことを今でもよく覚えている。とは言え、石の上にも三年とはよく言ったもので、この

(さとう うらら)  
宮城県内の企業を対象に英会話・英語資格試験準備・海外赴任直前コースを教えた他、県内の他大学で資格試験準備の集中コースを教えた経験がある。宮城大学では主にリーディングクラスを担当し、文章の字面を追うだけでなく、深い内容まで考える授業を目指すと同時に、英語を使って様々なトピックについて話せるようになるためのアクティビティにも力を入れている。

### 異文化理解・交流促進プログラム

## 日本事情探索・理解を深めた2日間

基盤教育群准教授 曾根 洋明

令和元年11月9日(土)～10日(日)にかけて異文化理解・交流促進プログラムの日本事情探訪および日本語スピーチコンテストを岩手県盛岡市周辺にて行いました。

このプログラムは、更なるグローバル化を展開する本学の日本人学生が異文化で育った人々と交流する力を身につけるため、彼らの日本観を知り、彼らに日本の諸事情を説明し、彼らとディスカッションすることを通して日本と諸外国との違いを知るプログラムです。また、本学の留学生にとってはスピーチをすることでこれまでの日本文化への適応過程を振り返り、日本事情探訪に参加し、自らも訪問地に関する発表をすることで、日本の歴史・文化への理解を深める機会となります。日本事情探訪は8回目となり、今年度も昨年度に引き続き訪問先で日本語スピーチコンテストを開催しました。

7月から3回事前研修を行い、参加学生は訪問地に関する調査研究をし、同時に異文化で生活してきた人に対して効率的に情報を伝達する方法を考えました。

今年度の訪問地は岩手大学ミュージアム(岩手文化)、岩鑄鉄器館(南部鉄器製造、日本の企業文化)、宮沢賢治記念館(文学)、平泉中尊寺(浄土思想)、龍徳寺(座禅体験)でした。

岩鑄鉄器館では予定していた質問時間を30分以上も上回って学生の質問が続きました。経営の苦勞、海外展開、



▲緊張のスピーチコンテストの様相



▲宮沢賢治記念館の前で1枚

日本の企業文化、他社競合等々。各所で学生が調査内容を分かりやすく発表。発表ツールも工夫して行きました。また、スピーチコンテストもこれまでの苦勞話が聞け、日本人学生は学ぶところが多かったと思います。

「南部鉄器工場ではゼロから完成までの生産段階を学ぶことができました。また直接経営者と職人さんに話を伺うことができ良かったです。」(事業構想学群1年グエンティ・ルアさん ベトナム出身)

「留学生の皆さんの日本や岩手についての発表を通し、文化交流や他国との違いに触れることができました。」

(事業構想学群1年関本美咲さん)

来年も開催予定です。

# 絆 No.23

## もしも後援会と会えずいたら私は何を(古い!!)

事務局学術情報室 室長 阿部成雄

2010年春の法人採用で入試担当職員として入職したとき、すでに50歳でした。2020年の今年は、天皇陛下よりひと足早く60歳になります。2014年春から学生支援担当になり、2016年からの2年間は後援会書記を兼ね、活動に深く関わりました。当時、後援会事務局には開学時からよく知る早苗さんという先輩がいらして、楽しくコンビを組むことができました。「自分でパンパンする」「ナンタルチャア」など、若い人は知らない言語をお使いになり、こちらもウマシカなことを言ってくれて一緒に笑いました。

後援会の役員の方々も、1960年代前半のお生まれの方が多く、私自身の子どもは宮大生ではなかったものの、親子揃って同世代だという親近感がありました。ある年の忘年会で、ある理事の方からキャリアコンサルタントの資格取得を勧められてその気

なりました。秋のさとう宗幸トーク&コンサートでは、司会役の晴れ舞台を踏ませてもらいました。宗さんと、「このホールの名前は何かですか?」「講堂です」「そうですか、講堂ですか?」「という、どうしようもないやりとり、「やっちゃったな」ですよ。

なりました。秋のさとう宗幸トーク&コンサートでは、司会役の晴れ舞台を踏ませてもらいました。宗さんと、「このホールの名前は何かですか?」「講堂です」「そうですか、講堂ですか?」「という、どうしようもないやりとり、「やっちゃったな」ですよ。



▲軽快なトークが印象的な阿部室長の笑顔

## 「新たな時代に求められる能力は大きく変わっていく」

キャリア・インターシップセンター長 田邊 信之

ドッグイヤーという言葉があるように、グローバル化、IT化などが進展する今日、社会経済環境は加速度的に変化しており、新たな時代のビジネスマン・ウーマンに求められる能力も大きく変わってきています。

日本経済団体連合会の産学協議会が2019年4月22日付で取り纏めた共同提言では、「Society 5.0時代に人材に求められる能力」として、忍耐力やリーダーシップ、チームワーク、学び続ける力などの人間力を基盤としつつ、リテラシー（数理的推論・データ分析力、論理的 文章表現力、外国語コミュニケーション力など）や論理的思考力と規範的判断力をベースとして社会システムを構想・設計する力などを挙げています。

こうした時代のニーズに応え、宮城大学では、基盤教育や専門教育に加えて、インターンシップを含めたキャリア教育の充実を図ることにより、高度な実学に基づき、豊かな人間性、高度な専門性及び確かな実践力を身につけ、グローバルな視点で地域社会や日本経済の発展に貢献できる人材を育成しています。また、環境変化に的確に対応できる柔軟性や「学び続ける力」の涵養にも注力しています。

具体的には、大学1年後期から3年後期にわたってキャリア開発科目（必修）とインターンシップ科目を配置して、自らのキャリア開発についてじっくりと考え、それまで培ってきた知見や人間力などを実践的に活用する機会を提供しています。また、宮城大学は、経団連の「今後の採用とインターンシップのあり方に関する分科会」の委員としても参画し、常に最先端の動きを把握しつつ、キャリア・インターンシップ教育のあり方を見直しています。

在学生の努力はもちろんのこと、ご家庭のご支援・協力で支えられ、宮城大学では全学群で、2年間連続して就職内定率100%となっております。皆様のご協力に感謝するとともに、今後も教職員一丸となって、学生のキャリア開発に尽力していく所存ですので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 確かな教育に基づく専門力、人間力の育成

宮城大学では、基盤教育や専門教育に加えて、インターンシップを含めたキャリア教育の充実を図ることにより、高度な実学に基づき、豊かな人間性、高度な専門性及び確かな実践力を身につけ、グローバルな視点で地域社会や日本経済の発展に貢献できる人材を育成しています。

### 4年間を通じたキャリア教育及び就職支援

|                 | 1年次  | 2年次                         | 3年次  | 4年次                           | 卒業後の進路  |
|-----------------|--|-----------------------------|--|-------------------------------|---|
|                 | 進路選択やキャリア形成の意識を高めるため、客観的ツール等も用いて自己特性を把握する。 |                             | 目標を絞り、その実現に向けた知識と実践力、スケジュール管理能力等を磨く。                 | 専門力、人間力を活かした就職活動を通じて自己実現を目指す。 |   |
| 看護学群            | キャリアガイダンス①                                 | キャリアガイダンス②                  | キャリアガイダンス③<br>看護師・保健師<br>国家試験対策ガイダンス、<br>医療機関等研究セミナー | 国家試験受験対策<br>模擬試験、模擬試験解説会、直前講座 | 看護学群<br>就職率（平成30年度） <b>100%</b><br>看護師国家試験合格率<br>（第108回：全国平均94.7%） <b>98.9%</b><br>保健師国家試験合格率<br>（第105回：全国平均88.1%） <b>97.5%</b> |
|                 | フレッシュマンコア<br>（基盤教育）<br>（キャリアデザインI）         | キャリアデザインII<br>キャリア開発I       | キャリア開発II・III<br>合同業界研究セミナー／業界研究会                     | 医療機関等研究セミナー<br>医療機関インターンシップ   | 各種就職活動支援セミナー、個別企業説明会等   |
| 事業構想学群<br>食産業学群 | 産学連携講座                                     | インターンシップI<br>学外研修（アドバンスコース） | インターンシップII<br>企業主催インターンシップ（応募等）／学群実施インターンシップ（推薦等）    | 就職活動支援                        | 事業構想学群<br>就職率（平成30年度） <b>100%</b><br>食産業学群<br>就職率（平成30年度） <b>100%</b>   |
|                 |  |                             | 課題解決型、現場体験型、経営課題解決・提案型                               |                               |   |

教職員とともに、キャリア開発室や進路相談員が1年次より4年間を通していつでも学生の

キャリア開発室では、個々の学生の特性に適したキャリア形成に役立つように、学生の進路選択の相談に乗るとともに個人面接及びグループ面接の練習の他、エントリーシートの書き方等、

## 後援会の支援（実績報告）

後援会ではキャリア教育や就職支援の講座等の一部を「キャリア開発支援助成」でサポートしています。20019年度の助成実績を紹介いたします。

### 国家試験対策・養護教諭試験対策支援

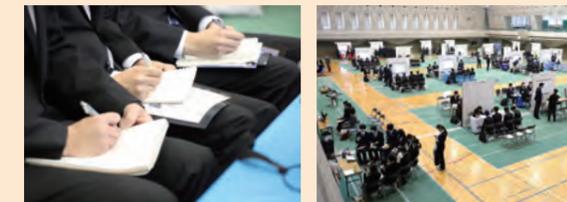
看護学群（部）には国家試験合格率及び養護教諭試験合格率向上のため、主に4年次生を対象に国家試験等に向けた学習会を5月～1月にかけて行う開講費を助成しています。  
国家試験合格に向けて、模試解説会や試験対策講座には延べ681人が参加しました。

### エントリーシート添削支援、自己分析・適職発見プログラム支援

事業構想学群、食産業学群には、就職活動に向けた準備促進のため、3年次生を対象にエントリーシート添削支援、自己分析・適職発見検査の実施費用を助成しています。  
6月開催の自己分析・適職発見プログラムには125人が受験、11月開催のエントリーシート添削支援には136人が参加しました。

### 学内合同企業研究セミナー開催支援

学内を会場として開催する合同企業研究セミナー開催費を助成しています。  
合同企業研究セミナーでは80の企業・団体様にご参加いただき、学生は目指している業界や企業様の説明に耳を傾けながら、丁寧にメモを取っていました。



▲宮城大学体育館アリーナで開催された「合同企業研究セミナー」（2019.12）

## 宮城大学のキャリア支援 キャリア形成をサポート・キャリア開発室

キャリア開発室は、大和と太白の両キャンパスに設置されており、抱負な経験を持つ指導員が常駐しています。学生が、生涯に渡って学習しようとする高い意識を持てるように、そして主体的思考力と強い人間力を身につけるために、学群ごとに適したキャリア教育と就職支援を行っています。そして、学生の個に合った親身な指導や相談を心掛けています。さらには、実践的な就職セミナーや県内外の企業による説明会等を随時開催するほか、OB・OGと意見交換できる場を設けるなど、多くの企業と接する機会を提供しています。キャリア開発室は、まさに「チャンスと出会う場」です。

- ・キャリア形成に関する情報提供
- ・就職関連のガイダンス、セミナー、合同企業説明会
- ・個別面談（相談、面接練習など）

※本学を卒業されたみなさまへ  
キャリア開発室では、希望する卒業生に、就職に関する情報提供や個別相談等を実施しています。相談等を希望される場合は、キャリア開発室にご連絡ください。  
大和キャンパス 022 (377) 8216  
太白キャンパス 022 (245) 1175

### キャリア教育・支援プログラム

中長期的な視野に立ったキャリア教育を目指し、全学群にて1年次から3年次後期にわたり充実したキャリア科目の講義を用意しています。その充実したプログラムの中で、学生自身がじっくりと自分と向き合いながら自己のキャリア形成を考え、それを実行に移すことのできる様々な機会を提供します。

### インターンシップ・プログラム

1・2年次より、講義形式でのキャリア形成教育と連動し、体験型学習として多様なインターンシップ・プログラムを実施します。また就活に直結する公募型インターンシップ或いは学生向けビジネスコンテスト、アイデアソン等の学外にて実施される様々な体験型プログラムの情報提供を積極的に行います。

### キャリア開発室のサポート

キャリア開発室では、学生の個性と適性、そして希望する様々なライフプランに沿ったキャリア形成を、企業情報の提供、就職関連のガイダンス、学生の適性別に実施されるテクニカルセミナー、個別企業セミナー、そして合同企業研究セミナー等を提供し、年間を通じて多角的にサポートします。

#### 看護学群

#### キャリアガイダンス①～③

4年次に学生自身が進路決定できるように、1年次から3年次まで、講義・グループワーク・先輩の体験談などを通して、個々の学生が自らの適性を考え職業の選択ができる能力を育成します。

#### 事業構想学群 食産業学群

#### キャリアデザイン・キャリア開発

社会環境や他者との関係を理解し、キャリア・プランニング・プロセスの考え方を学び、様々な職業人の話から、進路選択を熟考しながら自己を分析し、どのような能力を身につけるべきかを実践的に学びます。

#### 事業構想学群 食産業学群

#### インターンシップI・II

早期の職業観醸成を目指し、2年次に仕事や社会について学び、実社会での職場体験も用意しています。3年次には、将来の職業選択に向けてインターンシップに参加すると一連の教育プログラムを構築しています。

#### 国家試験対策

「看護師」「保健師」の資格は、国家試験の合格をもって得られる資格です。4年次には、定期的に模擬試験とその解説会を行い、学びを定着させます。また、国家試験合格に向けて教員のサポート体制を構築しています。

#### 看護学群 事業構想学群 食産業学群

#### 公務員試験対策

行政事務、建築、保健師など公務員を目指す学生を対象に、教養試験と専門試験の対策講座をはじめ、論文添削や面接指導、また個別自治体説明会など多岐にわたり支援プログラムを実施しています。

#### 事業構想学群 食産業学群

#### 合同業界研究セミナー

学生による主体的なキャリア形成への意識づけ、また職業観や勤労観の涵養を目的に、企業、自治体の採用担当者や本学のOB・OGを招聘し、業界、企業を広く研究する機会を設けています。

キャリア形成に向けた活動をサポート

就職活動に必須の実践に則した様々な個別指導、相談をおこないます。

## “生きた”病態生理学

看護学群教授 風間 逸郎

“手でさわってごらん”むき出しになったウシガエルのなま”の心臓を目の当たりにして、最初は嫌悪感をあらわにする学生さんたち。しかし指の先で触れた途端、“わっ、いのちの拍動を感じる!”と目を輝かせ始める光景を、東北大学で教えていた頃から何年も見てきました。(しめしめ…)“じゃあこの拍動を心電図で見てみようか”、“心筋梗塞だったらどうなるだろう?”などと、しだいに病気の話に引き込んでいきます。



病院に来る患者さんの多くは、採血をしてもレントゲンを撮っても異常がありません。でも、おなかが痛かったり、頭が痛かったり、体がだるかったりするには、ちゃんと原因があるんです。見た目には分からなくても、患者さんの体の中で起きている異変が分かるようになる学問、それが病態生理学”です。

宮城大学に赴任して2年目になりますが、疾病論や形態機能学といった講義の中でそれを教えるだけでは飽き足らず、ついに卒業研究の学生さんたちを“カエルの世界”に引きずりこむことに成功しました。半年足らずの間に彼らはすっかり“心電図マスター”となり、さらには英語論文にも名前を連ねる立派な“研究者”にまで成長しました。看護師という、病める人たちの一番近くで活躍できる医療人を目指す学生さんたちにこそ、“生きた”病態生理学の醍醐味を伝えていきたいと思っています。そしていつか、一緒に研究をやってくれる仲間になってくれたらいいなあ、なんて勝手な夢を見ております・・・



卒業研究(風間ゼミ)の学生さんたちと

## 大学からのお知らせ

### 卒業式のご案内

令和元年度宮城大学卒業証書・学位記授与式を挙りますので、ご出席ください。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。なお、式場内の座席数は限られているため、満席となった場合は、式場外のモニターでご覧いただくこととなりますので、ご了承ください。式典の詳細は、大学ホームページに掲載しております。(URL: <http://www.myu.ac.jp/campus/news/3123/>)

- 日時: 令和2年3月19日(木) 受付 9時開始  
式典 10時～11時頃
- 場所: 宮城大学大和キャンパス講堂(学務課 ☎ 022(377)8218)

### ご支援のお願い

～高度な実学により、次世代のリーダーを育成するために～

宮城大学学生を対象とした「学修・研究の充実」「国際的視野の涵養」「教育研究施設の整備」をさらに発展的に実施するとともに、学生をより積極的に支援するために“宮城大学ネクストリーダーズ基金”を設立いたしました。趣旨にご賛同いただき、温かいご支援を賜りますよう、よろしくごお願いいたします。詳細は <https://www.myu.ac.jp/foundation/> をご覧ください。(財務課 ☎ 022(377)8235)

### 編集後記

自然災害で被害を受けられた皆様方に、心からお見舞い申し上げます。学生、教職員も県内でボランティア活動を行いました。結城先生の講演のとおり「若い力」「小さな力」が活かされた瞬間だと感じました。(YU)

## 後援会からのお知らせ

### 令和2年度 後援会総会を開催します

令和2年度後援会総会を東京エレクトロンホール宮城 大ホールで、入学式後に開催いたします。議題は、令和元年度事業報告・決算報告、令和2年度事業計画・予算案などです。会員の皆さまはご出席くださいますようお願いいたします。(※駐車場はございませんので公共交通機関又は近くの有料駐車場をご利用ください。)

- 日時: 令和2年4月3日(金)  
入学式終了後 12時05分～12時45分(予定)
- 場所: 東京エレクトロンホール宮城 大ホール

### 後援会役員の募集

後援会では令和2年度事業に向けて準備が進んでいます。学生・大学・会員のために後援会運営に携わってくださる方を募集しています。現1年生～3年生の保護者の方で、ご興味のある方はご連絡ください。

### 後援会終身会員制度のご案内

後援会では父母の方々が、学生の卒業後も宮城大学を支援する終身会員制度を設けています。卒業生の父母の皆さまの希望によりご加入いただくものですが、これまで多くの方々に入会いただき、大学の精神的な支えとなっています。会員の方には年2回発行の会報、及び主催事業の案内等を20年間送付いたします。

大学間の生き残りをかけた競争が激化する中、自主自律の運営を目指す宮城大学を、更なる充実した支援で、物心両面から支えてまいりたいと考えております。

今年度卒業を予定されている父母の皆さまには、改めてご案内いたしますので、何卒、制度の趣旨を御理解いただき、多くの方にご賛同いただきますようお願いいたします。

### 宮城大学後援会「第2回終身会員の集い」開催される

令和2年2月15日、「終身会員の集い」が中国北京料理「飛天」を会場に24名が参集し盛大に開催されました。

昨年、終身会員制度が発足して20年を迎え、初めて終身会員の集いが開催されましたが、参加された会員の皆様から「大学近況を知り、もっと貢献したい」「意見交換の機会として継続してほしい」等の声が多く寄せられ、本実行委員阿部孝一代表が中心となり今年も開催することとし、懐かしい方々との親交を深める機会となりました。

来賓の川上伸昭理事長兼学長からあいさつをいただき、宮城大学の取り組みとして、新棟建設等により学生が学ぶ環境を充実させること。より社会に貢献する学生を送り出すとともに本学卒業生が教員として戻り後輩育成に活躍していること。学生自ら研究行動し、企業や有志の皆様より支援をいただきながらネクストリーダーとして個性のある学生育成を目指すこと等を伺い、大学の発展と総合力のある学生の育成に、益々期待できると確信いたしました。

卒業生フォーカスとして、平成22年度食産業学部フードビジネス学科卒のcock屋主宰穴戸元紀さんをお招きし、起業に至るまでの経緯やバンドケーキ製造のこだわりのお話を伺い、卒業生の活躍を実感しました。

また、参加者から近況報告をいただき、後援会運営の苦労や御子息の近況報告があり、あっという間に時間が過ぎ会を終了いたしました。

参加者からは、「今後もこのような機会作ってほしい」との声を多くいただき、今後の活動について継続することで実行委員に一任していただきました。

今後も大学と連携を図り、活動の広がりが期待されます。

(後援会監事 「終身会員の集い実行委員」 下山晴朗)

後援会事務局 ☎ 022(377)8381 [kouenkai@myu.ac.jp](mailto:kouenkai@myu.ac.jp)



宮城大学後援会  
第2回「終身会員の集い」